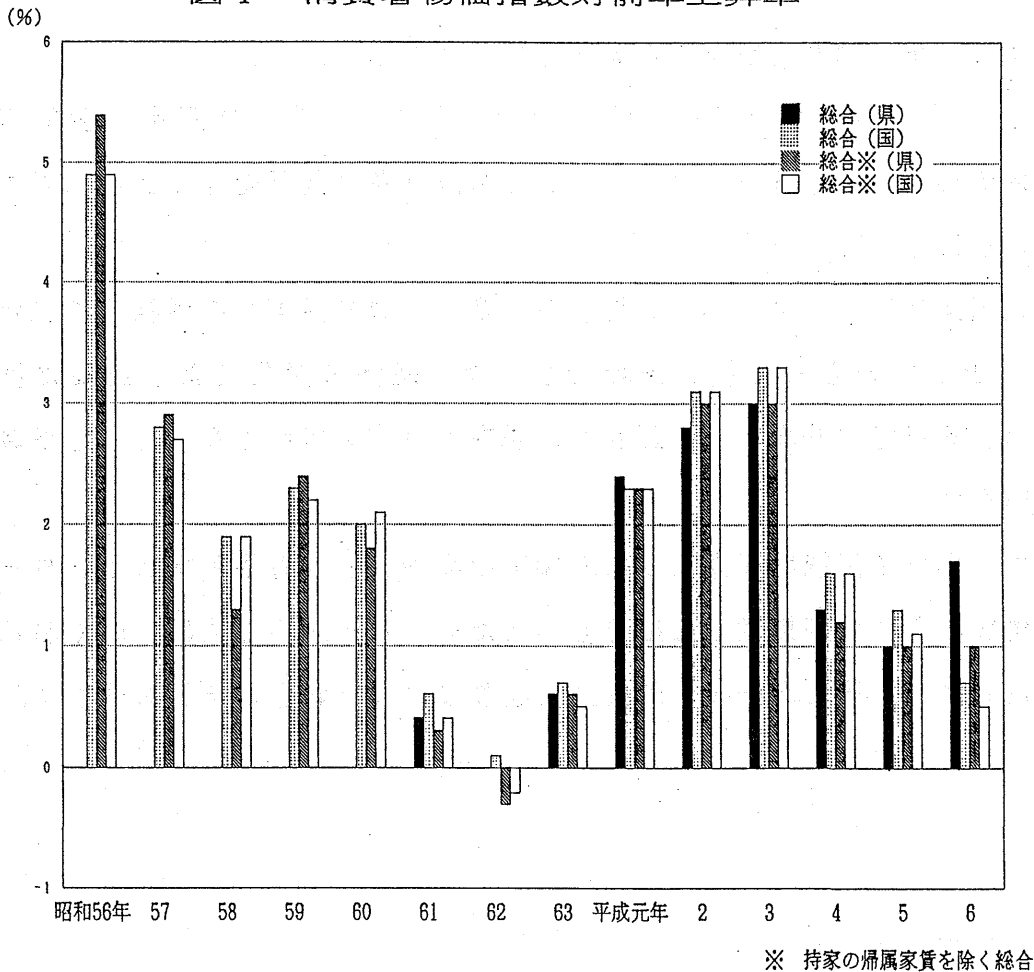


# 平成6年平均三重県消費者物価指数の動向

図1 消費者物価指数対前年上昇率



## 1. 概要

県……… 平成6年平均三重県消費者物価指数は、平成2年を100とした総合指数で107.1となり、前年に比べ(+ ) 1.7%の上昇となった。

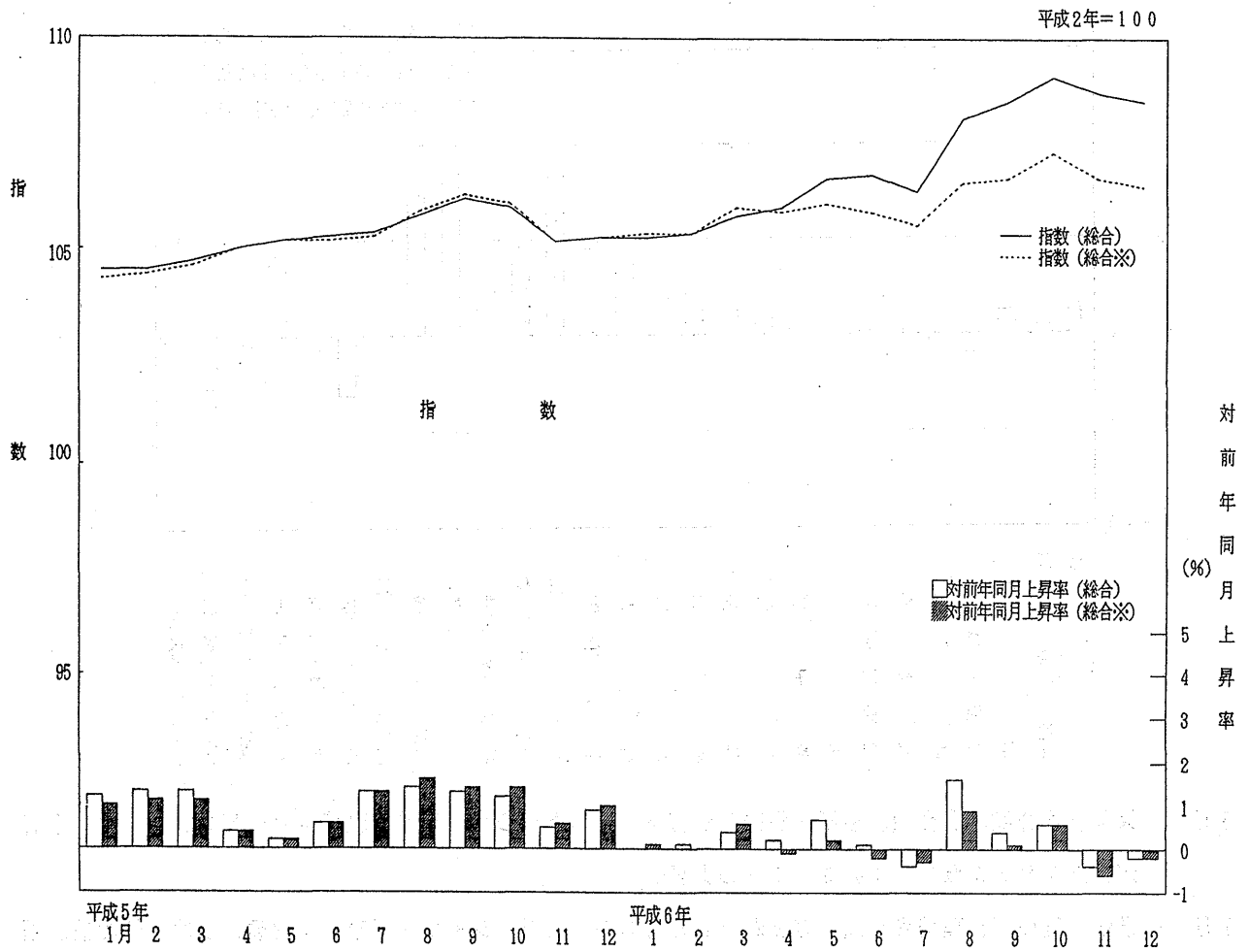
持家の帰属家賃を除く総合指数は106.2となり、前年に比べ(+ ) 1.0%の上昇となった。

最近の総合指数の対前年上昇率の推移をみると、昭和61年(+ ) 0.4%、62年(±) 0.0%、63年(+ ) 0.7%と3年連続して1%未満の上昇で極めて安定した動きで推移してきた。しかし、平成元年は4月から消費税の導入もあって(+ ) 2.4%の上昇となった後、2年は(+ ) 2.8%、3年は(+ ) 3.0%と上昇幅が拡大した。しかし、4年からは2%を下回り、4年(+ ) 1.3%、5年(+ ) 1.0%の上昇で推移した後、6年は(+ ) 1.7%の上昇で、前年の上昇幅から0.7ポイント拡大した。

なお、6年の県の上昇率が全国と比べて大きくなっているが、これは住居の大幅上昇に影響されているものと思われる。

国……… 平成6年平均全国消費者物価指数は、平成2年を100とした総合指数で107.1で、前年に比べ(+ ) 0.7%の上昇となり、前年の上昇幅(+ ) 1.3%から0.6ポイント縮小した。

図2 月別の動向



※ 持家の帰属家賃を除く総合

## 2. 年間の動き

平成6年の消費者物価指数（総合指数）の動きを対前月上昇率でみると、次のとおりである。

1月……野菜・海草、果物、油脂・調味料、魚介類が値上がりしたものの、衣料、シャツ・下着、乳卵類、履物類が値下がりしたため（±）0.0%となり前月と変わらなかった。

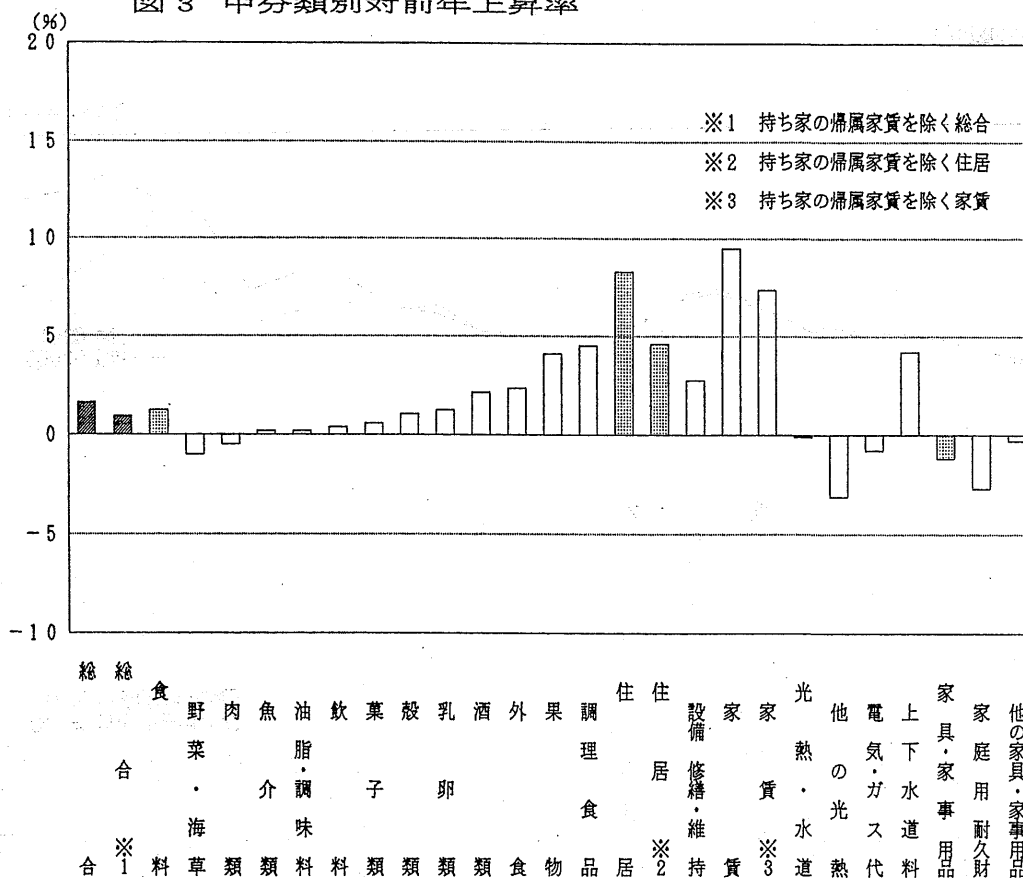
2月……シャツ・下着、衣料、教養娯楽用耐久財、医薬品が値下がりしたものの、果物、乳卵類、通信、野菜・海草が値上がりしたため（+）0.1%の上昇。

3月……野菜・海草、教養娯楽用耐久財、家庭用耐久財が値下がりしたものの、衣料、調理食品、乳卵類、果物、生地・他の被服類が値上がりしたため（+）0.4%の上昇。

4月……果物、野菜・海草、乳卵類、穀類が値下がりしたものの、シャツ・下着、授業料、水道料、保健医療サービスが値上がりしたため（+）0.2%の上昇。

5月……野菜・海草、魚介類、医薬品が値下がりしたものの、家賃、酒類、シャツ・下着、衣料が値上がりしたため（+）0.7%の上昇。

図3 中分類別対前年上昇率

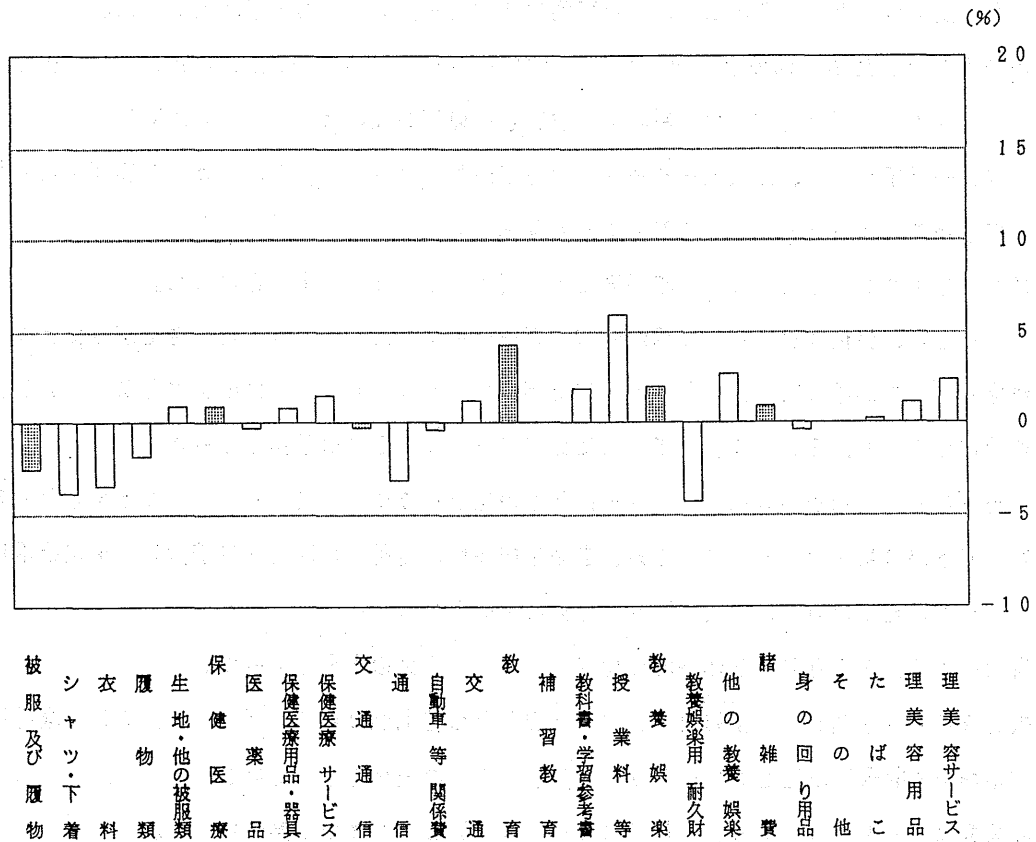


- 6月……果物、魚介類、乳卵類、油脂・調味料が値下がりしたものの、家賃、理美容サービス、シャツ・下着が値上がりしたため(+)0.1%の上昇。
- 7月……果物、乳卵類、理美容用品が値上がりしたものの、衣料、シャツ・下着、履物類、生地・他の被服類が値下がりしたため(-)0.4%の下落。
- 8月……シャツ・下着、衣料、飲料が値下がりしたものの、果物、野菜・海藻、家賃、魚介類、他の教養娯楽が値上がりしたため(+)1.6%の上昇。
- 9月……果物、穀類、他の教養娯楽が値下がりしたものの、シャツ・下着、衣料、野菜・海藻、履物類、家賃が値上がりしたため(+)0.4%の上昇。
- 10月……教養娯楽用耐久財、穀類、身の回り用品が値下がりしたものの、野菜・海藻、果物、家賃、履物類、衣料、シャツ・下着が値上がりしたため(+)0.6%の上昇。
- 11月……魚介類、家庭用耐久財、設備修繕・維持、衣料、理美容用品が値上がりしたものの、野菜・海藻、果物、教養娯楽用耐久財、穀類が値下がりしたため(-)0.4%の下落。
- 12月……果物、油脂・調味料、魚介類、設備修繕・維持が値上がりしたものの、野菜・海藻、衣料、履物類、シャツ・下着、穀類が値下がりしたため(-)0.2%の下落。

3. 費目別指数の動き

費目別に前年からの動きをみると、次のとおりである。

- 食料は106.5となり、5年平均に比べ(+)1.3%上昇した。



内訳をみると、魚介類は、生鮮魚介のさば、ほたて貝、さけなどが値下がりしたものの、かつお、いか、たいなどが値上がりしたため、(+) $0.2\%$ の上昇となっている。野菜・海藻は生鮮野菜のはくさい、にんじん、生しいたけなどが値上がりしたものの、さやいんげん、さやえんどう、ブロッコリー、かぼちゃなどが値下がりしたため、(-) $1.0\%$ の下落となっている。果物は、生鮮果物のキウイフルーツ、グレープフルーツ、なしなどが値下がりしたものの、ぶどう(巨峰、テラウエア)、みかん、オレンジなどが値上がりしたため、(+) $4.1\%$ の上昇となっている。また、穀類がもち米、うるち米などの値上がりにより(+) $1.1\%$ 、乳卵類がヨーグルト、バター、鶏卵などの値上がりにより、(+) $1.3\%$ 、調理食品が弁当、コロケなどの値上がりにより(+) $4.5\%$ 、酒類が清酒、焼酎などの値上がりにより(+) $2.2\%$ 、外食がスパゲティ、ビールなどが値上がりにより(+) $2.4\%$ の上昇となっている。

○ 住居は $116.9$ となり、5年平均に比べ(+) $8.3\%$ の上昇となった。

内訳をみると、家賃が民営家賃の値上がりにより(+) $9.5\%$ の上昇となっている。今年、家賃の上昇幅が大きいのは、家賃調査が全数調査ではなく標本調査のため、調査地区内の新しいアパートやマンションの建築による影響が大きかったものと思われる。また、設備修繕・維持は水道工事費、畳表取替費、板材などの値上がりにより(+) $2.8\%$ の上昇となっている。

○ 光熱・水道は $105.6$ となり、5年平均に比べ(-) $0.1\%$ の下落となった。

内訳をみると、上下水道料が水道料の値上がりにより(+) $4.2\%$ 上昇したものの、電気・ガス代が電気代の値下がりにより(-) $0.8\%$ 、他の光熱が灯油の値下がりにより(-) $3.1\%$ の下落となっている。

○ 家具・家事用品は $101.9$ となり、5年平均に比べ(-) $1.2\%$ の下落となった。

内訳をみると、家庭用耐久財が電気洗濯機、ルームエアコン、電気冷蔵庫、ミシンなどの値下がりにより(-) $2.7\%$ の下落となっている。

○ 被服及び履物は100.8となり、5年平均に比べ(-)2.5%の下落となった。

内訳をみると、生地・他の被服類がパンティストッキング、毛糸などの値上がりにより(+) $0.9\%$ 上昇したものの、衣料が男子上着、婦人スーツなどの値下がりにより(-) $3.4\%$ 、シャツ・下着が婦人Tシャツ、子供Tシャツ、婦人セーターなどの値下がりにより(-) $3.8\%$ 、履物類が婦人革靴、子供靴などの値下がりにより(-) $1.8\%$ の下落となっている。

○ 保健医療は105.4となり、5年平均に比べ(+) $0.9\%$ の上昇となった。

内訳をみると、保健医療用品・器具が眼鏡、ガーゼ付きばんそうこうなどの値上がりにより(+) $0.8\%$ 保健医療サービスが診察料、入院費などの値上がりにより(+) $1.5\%$ の上昇となっている。

○ 交通通信は100.3となり、5年平均に比べ(-) $0.3\%$ の下落となった。

内訳をみると、交通がバス代、タクシー代などの値上がりにより(+) $1.2\%$ 上昇したものの、通信が通話料の値下がりにより(-) $3.1\%$ 、自動車関係費が自動車保険料(自賠責)、小型乗用車(輸入車)、ガソリンなどの値下がりにより(-) $0.4\%$ の下落となっている。

○ 教育は117.8となり、5年平均に比べ(+) $4.3\%$ の上昇となった。

内訳をみると、授業料等が授業料、PTA会費などの値上がりにより(+) $6.0\%$ 、教科書・学習参考書が学習参考書(国語)の値上がりにより(+) $1.9\%$ の上昇となっている。

○ 教養娯楽は109.6となり、5年平均に比べ(+) $2.0\%$ の上昇となった。

内訳をみると、教養娯楽用耐久財がテレビ、ステレオ、ビデオテープレコーダー、学習機などの値下がりにより(-) $4.2\%$ 下落したものの、他の教養娯楽が自動車教習料、切り花(カーネーション)、新聞代、書籍などの値上がりにより(+) $2.7\%$ の上昇となっている。

○ 諸雑費は104.4となり、5年平均に比べ(+) $0.9\%$ の上昇となった。

内訳をみると、理美容サービスが理髪料の値上がりにより(+) $2.4\%$ 、理美容用品が化粧石けん、口紅、化粧品(クリーム)などの値上がりにより(+) $1.1\%$ 、たばこが(+) $0.2\%$ の上昇となっている。

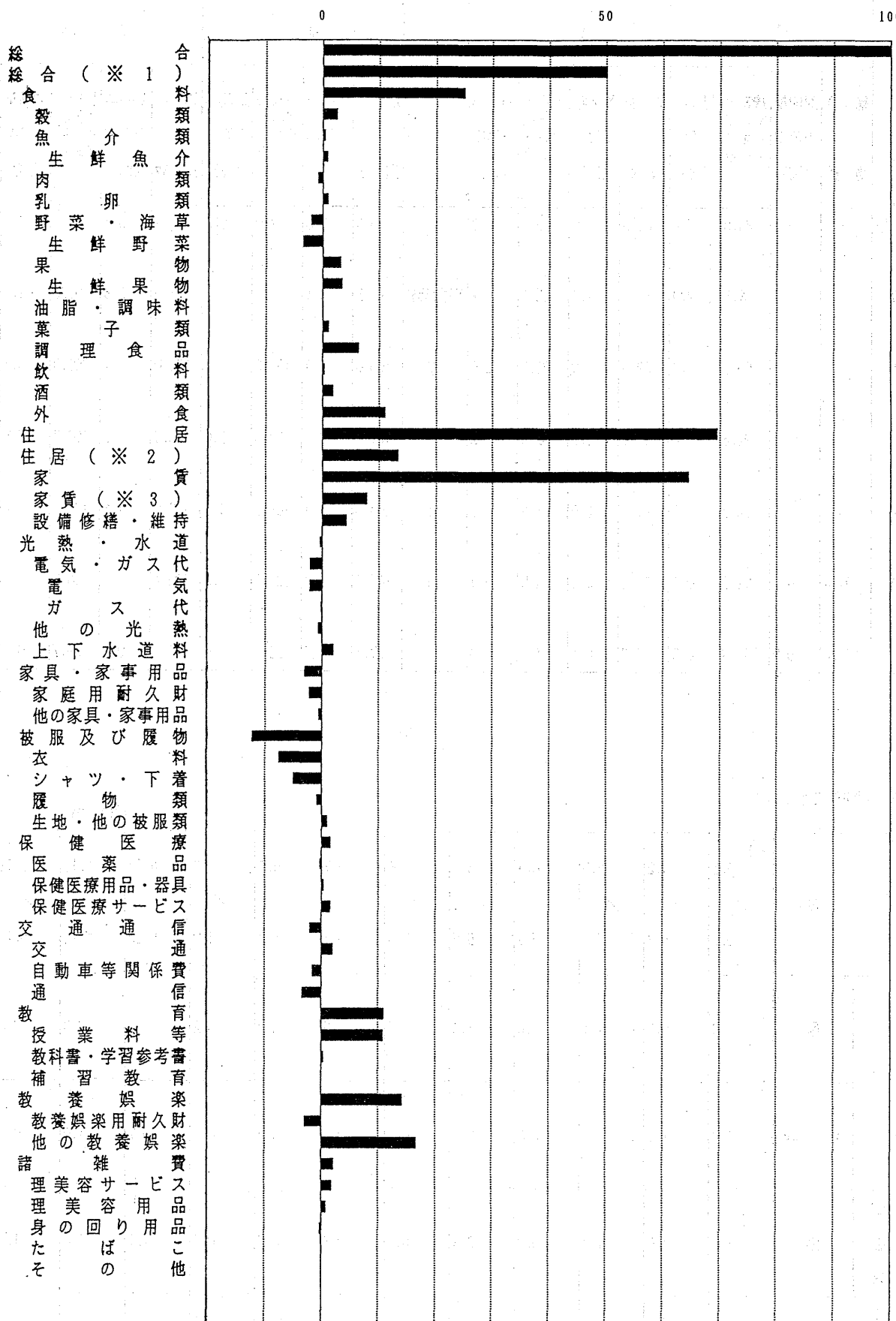
#### 4. 寄与率

各分類の上昇率が、総合指数の上昇率(+) $1.7\%$ に影響を及ぼした主なものを大分類で寄与率をみると上昇の寄与率は、食料が(+) $25.0\%$ 、住居(+) $69.5\%$ 、保健医療(+) $1.6\%$ 、教育(+) $11.0\%$ 、教養娯楽(+) $14.2\%$ 、諸雑費(+) $2.2\%$ の上昇となっており、下落の寄与率は、光熱・水道(-) $0.3\%$ 、家具・家事用品(-) $3.0\%$ 、被服及び履物(-) $12.3\%$ 、交通通信(-) $2.0\%$ となっている。

中分類に主なものをみると、上昇の寄与率は、家賃(+) $64.4\%$ 、他の教養娯楽(+) $16.6\%$ 、外食(+) $11.0\%$ 、授業料等(+) $10.8\%$ 、調理食品(+) $6.4\%$ 、設備修繕・維持(+) $4.3\%$ となっており、下落の寄与率は、衣料(-) $7.5\%$ 、シャツ・下着(-) $4.9\%$ 、通信(-) $3.3\%$ となっている。

図 4 消費者物価指数の寄与率

(%)



※1 持家の帰属家賃を除く総合  
 ※3 持家の帰属家賃を除く家賃

※2 持家の帰属家賃を除く住居

表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成2年=100

	県				全 国					県				全 国			
	総 合 指 数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)	総 合 指 数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)		総 合 指 数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)	総 合 指 数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)
昭和56年	-	-	86.8	5.4	85.6	4.9	86.3	4.9	63	95.0	0.6	94.9	0.6	94.9	0.7	94.8	0.5
57	-	-	89.3	2.9	88.0	2.8	88.6	2.7	平成元年	97.3	2.4	97.1	2.3	97.0	2.3	97.0	2.3
58	-	-	90.5	1.3	89.6	1.9	90.3	1.9	2	100.0	2.8	100.0	3.0	100.0	3.1	100.0	3.1
59	-	-	92.6	2.4	91.7	2.3	92.3	2.2	3	103.0	3.0	103.0	3.0	103.3	3.3	103.3	3.3
60	94.0	-	94.3	1.8	93.5	2.0	94.2	2.1	4	104.3	1.3	104.2	1.2	105.0	1.6	105.0	1.6
61	94.4	0.4	94.6	0.3	94.1	0.6	94.5	0.4	5	105.3	1.0	105.2	1.0	106.4	1.3	106.2	1.1
62	94.4	0.0	94.3	-0.3	94.2	0.1	94.4	-0.2	6	107.1	1.7	106.2	1.0	107.1	0.7	106.7	0.5

表2 対前年同月上昇率

単位：%

年	月	平成	6.1	6.2	6.3	6.4	6.5	6.6	6.7	6.8	6.9	6.10	6.11	6.12
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
総 合	県	5.1	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6	5.7	5.8	5.9	5.10	5.11	5.12	
	全 国	0.8	0.9	1.1	1.0	1.4	1.4	0.9	2.2	2.2	2.9	3.3	3.0	
持 賃 家 を 除 く 帰 属 総 家 合	県	1.2	1.1	1.3	0.8	0.8	0.6	-0.2	0.0	0.2	0.7	1.0	0.7	
	全 国	1.1	1.0	1.3	0.9	0.9	0.7	0.3	0.7	0.4	1.1	1.4	1.1	
持 賃 家 を 除 く 帰 属 総 家 合	県	1.1	1.0	1.1	0.7	0.7	0.3	-0.4	-0.2	0.0	0.6	0.8	0.5	
	全 国	1.1	1.0	1.1	0.7	0.7	0.3	-0.4	-0.2	0.0	0.6	0.8	0.5	

表3 5市平均中分類指数・寄与度・寄与率

(平成 2年=100)

	指 数		対前年上昇率(%)		寄与度	寄与率(%)
	平成5年平均	平成6年平均	平成5年平均	平成6年平均	平成6年	平成6年
総合(※1)	105.3	107.1	1.0	1.7	1.709	100.0
食料	105.2	106.2	1.0	1.0	0.857	50.1
穀類	105.1	106.5	1.4	1.3	0.427	25.0
魚介類	107.1	108.3	1.4	1.1	0.037	2.5
生鮮魚介類	104.5	104.7	-1.2	0.2	0.007	0.4
肉類	97.4	98.1	-2.6	0.7	0.014	0.8
乳卵類	101.5	101.0	0.1	-0.5	-0.013	-0.8
野菜・海草類	97.6	98.9	-1.2	1.3	0.015	0.9
野生鮮野菜類	106.9	105.8	9.8	-1.0	-0.035	-2.0
果物類	103.7	100.7	15.2	-2.9	-0.058	-3.4
生鮮果物類	97.2	101.2	-8.0	4.1	0.054	3.2
油脂・調味料	96.6	101.2	-7.9	4.8	0.060	3.5
菓子類	109.5	109.7	-1.3	0.2	0.000	0.0
調理食料	105.2	105.8	-0.3	0.6	0.017	1.0
飲料	107.7	112.5	2.0	4.5	0.110	6.4
酒類	109.9	110.3	2.1	0.4	0.005	0.3
外食	102.4	104.7	0.0	2.2	0.031	1.8
居住(※2)	106.0	108.5	2.4	2.4	0.188	11.0
住居(※2)	107.9	116.9	1.3	8.3	1.188	69.5
家賃(※3)	113.9	119.1	2.5	4.6	0.227	13.3
設備修繕・維持	106.6	116.7	1.0	9.5	1.100	64.4
水道	112.9	121.2	2.3	7.4	0.135	7.9
電気・ガス	114.2	117.4	2.7	2.8	0.074	4.3
光熱代	105.7	105.6	0.6	-0.1	-0.005	-0.3
電気代	105.9	105.0	0.7	-0.8	-0.037	-2.1
ガス代	99.7	98.2	-0.3	-1.5	-0.037	-2.2
他の光熱代	115.2	115.1	1.9	-0.1	0.001	-0.1
上下水道料	112.6	109.1	2.2	-3.1	-0.010	-0.6
家具・家事用品	102.3	106.6	0.0	4.2	0.035	2.0
家庭用耐久財	103.1	101.9	-0.4	-1.2	-0.051	-3.0
他の家具・家事用品	100.4	97.7	-1.8	-2.7	-0.038	-2.2
被服及び履物	104.3	104.0	0.2	-0.3	-0.009	-0.5
衣料	103.4	100.8	-1.6	-2.5	-0.219	-12.3
シャツ・下着	101.9	98.4	-1.9	-3.4	-0.121	-7.5
履物	101.2	97.4	-2.3	-3.8	-0.083	-4.9
生地・他の被服類	107.7	105.8	-1.2	-1.8	-0.014	-0.8
保健医療	108.5	109.5	0.3	0.9	0.015	0.9
医療用品	104.5	105.4	1.6	0.9	0.028	1.6
保健医療用品・器具	100.0	99.7	0.4	-0.3	-0.003	-0.2
保健医療サービス	105.2	106.0	1.9	0.8	0.005	0.3
交通通信	106.9	108.5	2.1	1.5	0.025	1.5
自動車等関係	100.6	100.3	0.5	-0.3	-0.035	-2.0
通信	104.0	105.2	0.2	1.2	0.035	2.0
教育	101.2	100.8	1.5	-0.4	-0.026	-1.6
授業料	93.6	90.7	-2.5	-3.1	-0.057	-3.3
教科書・学習参考書	112.9	117.8	4.1	4.3	0.188	11.0
補習教育	115.2	122.1	5.3	6.0	0.184	10.8
養育	112.3	114.4	3.8	1.9	0.005	0.3
養育	106.9	106.9	0.6	0.0	0.000	0.0
娯楽	107.4	109.6	1.0	2.0	0.242	14.2
娯楽用耐久財	99.3	95.1	-1.8	-4.2	-0.050	-2.9
他の娯楽	108.4	111.3	1.3	2.7	0.284	16.6
諸雑費	103.5	104.4	1.0	0.9	0.038	2.2
美容サービス	108.2	110.8	1.8	2.4	0.031	1.8
美容用品	101.8	102.9	0.8	1.1	0.014	0.8
身の回り用品	102.0	101.6	0.3	-0.4	-0.004	-0.2
たばこ	100.7	100.9	0.2	0.2	0.002	0.1
その他	116.7	116.7	16.7	0.0	0.000	0.0

※1 持家の帰属家賃を除く総合  
 ※3 持家の帰属家賃を除く家賃

※2 持家の帰属家賃を除く住居